

令和元年度 学校関係者評価書

学校名	北海道登別青嶺高等学校
-----	-------------

組織名	学校評議員
評価者	
川島芳治	斎藤正史
藤江紀彦	田村忠士
田村薫	

1 本年度の重点目標

- 基本的な学習姿勢を身に付け、目標を持って主体的に学力を積み上げる生徒
- 自分を尊重し思いやりの心を持ち、義務と責任を重んじて的確に判断し行動できる生徒
- 自己理解を深め、自らの個性と適性に基づいて進路目標を確立し、自己実現を目指す生徒

重点目標の適切さ	・おおむね良好であり、重点目標は適切であると思う。 ・前年に比べ学校が落ち着き大きく変化した。これは目標を達成するために教師が積極的に取り組み、努力した結果であるのではないかと。
----------	--

学校が行った自己評価の結果の内容が適切かどうか評価を行う。
A(適切な評価である)
B(ほぼ適切な評価である)
C(やや不適切な評価である)

2 自己評価結果

大項目	中項目	小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ				取組の適切さ				今後の改善の方策の適切さ			
						A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
						学習指導	教育課程	生徒の実態に即した教育課程編成	C	B	今後の本校の在り方について、新学習指導要領・地域に根ざした学校を踏まえ、将来構想委員会を立ち上げ、教育課程の見直しを進めている。	2	3			2	3
学力向上	家庭学習の促進など学習習慣の定着を図る取組の促進	D	C	朝読書・朝学習の継続により、学習習慣の定着を図り、家庭学習の定着へ働きかける。	3	1	1		3	1	1		3	2			
授業改善	授業規律の確立	朝読書や朝学習など朝の時間の有効活用	A	A	概ね整然と授業が行われているが、生徒自身が主体的に学ぶ意識の向上が課題であり、興味・関心を持つ教材・授業展開の工夫を図る。	4	1			5				4	1		
		授業規律の確立	C	C	また、地域の教育資源を活用し生徒の学ぶ意欲を喚起する。	2	3			2	3			3	2		
		言語活動の充実や問題解決的な学習	D	B		3	1	1		3	1	1		3	2		
	観点別評価など評価の工夫	観点別評価など評価の工夫	C	B		2	2	1		3	2			3	2		
		学ぶ意欲を喚起する学習指導の工夫	C	B		2	2	1		2	3			2	2		1
評価者の意見等		・家庭学習は家庭(保護者)・本人が率先して取り組む事項である。「宿題がないと家で勉強しない」という声が多いのだからと思う。課題を作る・提出・評価等すべてが先生の負担です。こちらの達成「D」よりも、「言語活動～」は話し足りぬいたり、読み書きという先生が一方的に話す。生徒は授業を聞かない。プリントを配る、問題を解く。一授業終わりにそんな授業の疲れなのですか？生徒のアンケートNO2・3・21に反映されている気がします。 ・生徒アンケートの学習状況を詳しく評価している項目が昨年度平均より上昇していることは教員の努力と評価できる。更なる工夫を！ ・家庭学習の定着は永遠の課題とは思いますが、子どもたちの価値観に寄り添った指導をお願いします。															
生徒指導	規範意識	規範意識が涵養される生徒指導の推進	B	B	携帯電話の預かりにより成果が出ているが、生徒が主体となり管理できる情操教育を図る。	2	2	1		2	2	1		2	2	1	
		スマートフォン等に頼らないコミュニケーションづくり	A	A		5				5				4	1		
		活発な生徒会活動	A	B	個人での全国大会出場と活躍しているが、生徒数の割に部活動の数が多く、集団種目での充実・課題がある。現状を充分に把握し、改善を図る。	4	1			4	1			4	1		
		部活動の充実・活性化	C	C		4		1		3	1	1		3	1	1	
いじめ	いじめ防止に関する適切な啓発及び対策	いじめ防止に関する適切な啓発及び対策	A	A	アンテナを高くし早期に対応することで未然に防ぐことができた。継続して実施する。	5				5				5			
		・魅力ある部活動がないのかも？ ・校外の指導は大変に難しいと思いますが、関係機関との連携をより強化していただきたい。															
評価者の意見等																	
進路指導	進路実現	上位層の学力伸長に係る取組の推進	B	B	講習、添削等により継続指導を行う。	4	1			4	1			5			
		保護者に対する十分な進路情報の提供	B	B	ホームページ、学校だより等のさらなる充実を図る。	4	1			4	1			4	1		
		生徒との進路にかかる個別相談の充実	A	A	継続して実施する。	5				5				5			
		系統的進路指導の推進	A	B	メンター制の見直しを図り効果的な指導を図る。	5				5				5			
評価者の意見等		・教員の取組は十分評価される。															
健康安全指導	心身の健康	生徒全員の個別面談の実施と教育相談活動の充実	A	A	「ほっと」「Q-U」等の検査結果を分析し、教育相談へと結びつけるとともに、引き続きスクールカウンセラーの活用を図る。	5				5				5			
		スクールカウンセラーの活用による教育相談機能の強化・充実	A	A		5				5				5			
		特別支援教育への理解の促進	C	C	教職員で情報の共有を図る。	3	1	1		2	3			1	3	1	
		美化活動	B	B	生徒への美化活動の意識付けを図る。	3	2			4	1			4			1
働き方改革	働き方改革	業務改善や教員の働き方改革への取組	C	B	職員への周知、学校閉庁日の設定、部活動休養日の遵守を図る。	3	1	1		2	3			1	4		
		・美化活動！まずは教員から！ですかね・・・意識付け。 ・個別小学校で実施された登別市の防災訓練では高校生が小学生への支援等立派に活動していました。															
評価者の意見等																	
信頼される学校づくり	地域連携とPTA活動の活性化	PTA便り・学校通信・HP・ラインスクールなど発信の強化	A	A	今年度、市内の中学校を訪問したことで中学校との距離を大きく近づけることができた。更に異校種・地域と連携を重視することで改善を図る。	5				5				4	1		
		地元中学校との情報交換、部活動などの交流	D	C		4		1		2	2	1		2	2	1	
		学校行事への参画の推進などPTA活動の活性化	C	B		3	1	1		3	1	1		3	1	1	
評価者の意見等		・PTAに限らず地域社会との連携を強く強めます。 ・地元唯一の高校なので積極的なPRが必要と思う。 ・地域との関わりは色々なチャンネルを活用していただきたい。															
組織運営	教職員の連携強化	教職員の学校経営参画意識を持った主体的取組の前進	D	C	前年踏襲ではなく積極的に改善を図ることで大きな成果を得た。個に任せるのではなく積極的な日常会話から夢を持ち学校全体でチャレンジする風気ができつつある。	4		1		4	1			3	1	1	
		教職員同士の意思の疎通と組織的運営	C	B		3	2			3	2			3	1	1	
		的確な反省引き継ぎなど事業・行事実施後の成果と課題の把握	C	C		3	2			3	2			3	1	1	
		教育課題や教育情報の共有化と共通認識の促進	D	C	職員会議、朝の打合せ等を活用し教育情報の共有化を図る。	4		1		4	1			4	1		
評価者の意見等		・道立学校での学校経営参画意識を持つことは厳しいと思います。何か、ないでしょうか・・・。 ・コメントにあるように自己評価が低いと思われる。															
資質向上	研修等の充実	校外での研修への参加と積極的な教科内研修の実施	D	C	希望があった研修はすべて受講できた。研修で得た情報を全教師で共有し効果的な研修活用を図る。	3	1	1		2	2			3	1	1	
		徴収金に対する適正な管理と意識改革	A	A	教科内研修・授業見学会が容易にできるように時間割等を工夫し教師の資質向上を図る。	4	1			4				5			
		教職員と保護者との連携	C	B	徴収金は担任・担当・事務長・教頭が連携し学校として対応した。次年度も組織対応を継続する。	4		1		2	2			2	2	1	
		授業観察や助言による教職員の資質向上	C	C		3	1	1		1	3			2	2	1	
評価者の意見等		・忙しい中、時間調整をして中学校の公開授業への参加はすばらしいと思います。全教師での情報共有の前に、科目毎の先生方での情報共有から取り組んでみてはどうでしょうか？ ・教職員と保護者との連携は課題である。積極的な働きかけが必要かと思えます。行っただけの研修にならない「何か」を工夫してください。															